

ユニット構築会議/学術実験プラットフォーム検討会議(第23回) 議事録(案)

時:2021年10月27日(月) 13:15-14:05 書記:今川

場所:オンライン

議事:

- お知らせ (坂本)
- ✓ ユニットテーマのレビューを実施中。
- ユニットクラスタ化に向けたブレインストーミング II
- ✓ 各テーマ軸のクラスター化の検討状況を確認。
- プラットフォームに関する話題提供  
小型トカマク hybtok-II を使った研究 (渡邊清政)
- 次回予定(2021年11月10日(水) 13:15-15:00)

(以下、質疑のみ記載、敬称略)

- ユニットクラスタ化に向けたブレインストーミング II
- 芦川：プラズマ・核融合学会のインフォーマルミーティングでは何を話すのか？
- 坂本：2021年末にはユニット化に見える化したい。どういうテーマ軸の上にユニットを構築しようとしているかをコミュニティに示して、意見を聞く。
- 芦川：所外共同研究者の多くはユニット提案者を介して情報を受け取っているの、ユニット提案者が知らない情報を発表しないようにお願いします。

プラットフォームに関する話題提供 (1件)

- 小型トカマク hybtok-II を使った研究 (渡邊)
- 小林(達)：乱流研究は行われていないのか？プローブをあるので、恰好の実験装置と思う。
- 渡邊：MHD を中心に研究を進めてきたので、乱流研究のためには計測を充実させる必要があるが、ぜひ利用して欲しい。
- 宮澤：小型装置を使う研究は重要だが、名大の装置をNIFSに移設するメリットは何か？
- 渡邊：名大では維持が難しくなると予想されることが背景にある。移設するメリットは、共同利用設備として整備することで利用者が拡大することが挙げられる。

—以上—